

メールマガジン ~児童生徒を守るために~

発行：沖縄県教育庁保健体育課・沖縄気象台

自分のまちの歴史を知る（自然災害伝承碑）

「災害は忘れたころにやってくる」と言われています。昔の人は、災害を忘れないように、石碑に記録を残しました。石碑を見ると、その土地でどんな災害があったのかがわかります。

こうした石碑は「自然災害伝承碑」と呼ばれ、日本には全部で2,388基あります。沖縄県には、津波や台風について書かれた石碑が8基あります。

災害に備えるためには、自分の住んでいる地域の歴史を知ることが大切です。あなたの町にある災害伝承碑を調べて、どんな災害が起こったのかを知ってみましょう。



乾隆三十六年大波の碑
(明和大津波)
(宮古島市)



明和大津波遭難者慰靈之塔
(明和大津波)
(石垣市)



津波襲来の碑
(チリ地震津波)
(名護市)



海上遭難者慰靈之塔
(アイリス台風)
(南城市)

出典：国土地理院ホームページ（自然災害伝承碑）
<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>

今月号でメールマガジンは150号を迎えました！

このメールマガジンは、防災教育を支援するために2013年6月に始まりました。それから毎月発行を続け、12年間で150号になりました。今では、県内の学校の約半分で使われています。

最初は、先生から子どもたちに防災の知識を伝えるための資料として作っていました。しかし、令和6年度学校安全指導者養成講習会のアンケートで「タイムリーなテーマ」「災害対応に関するここと」「シンプルで見やすく」という意見をもらいました。そこで、今は子どもたちが興味を持って読めるように工夫しています。もし、メールマガジンで取り上げてほしいテーマがあれば、担当窓口までお知らせください。

- 防災教育に関するお困りごとなど、ご要望は以下窓口までお気軽にお問合せください。

沖縄県教育庁 保健体育課 学校安全・給食班 高良 大輔

TEL : 098-866-2726 Email : aa316008@pref.okinawa.lg.jp

沖縄気象台 地域防災推進課 奥平 貞雄

TEL : 098-917-7921 Email : okibosai@met.kishou.go.jp